

学生を主体としたキャリア教育のプログラム実践に関する研究 課題 II

背景・目的

今年度の課題テーマ「学生を主体としたキャリア教育のプログラム実践に関する研究」の一環として、課題 II 「建築・インテリア分野のキャリア体験プラットフォームの構築」を設定した。活動の中心となっているのは1年～4年の学生が構成されている「建築学生有志団体アマリス」のメンバーである。授業で学んだことを実践を通してキャリア体験プラットフォームも整備・構築していくことを目的とする。

実施内容

1. ファブリックパネルによる空間のしつらえ

「自分たちが過ごしている場所を女子大らしく華やかな空間にしていきたい」という思いから、北欧テキスタイルブランド「マリメッコ」のファブリックを使って制作したパネルを家政館4階のラウンジ、実習室、工作室に飾った。

飾る場所、寸法の検討、テキスタイルのパターン選び、制作を通して、インテリアを提案するには空間全体的に考える必要があること等、授業で学んだことを体験した。

2. イラストレーション講習会

例年実施しているスキルアップのためのプログラムである。今年度も東北工業大学大学院建築学専攻の学生を講師として招き、イラストレーション、フォトショップの活用についての講習会を行った。

3. 学生が主催する就職支援座談会

OGによる就職講演会に参加する機会があるが、身近にいる先輩に就活についての「生」の話聞く機会が少ないという学生の声に応えて、アマリスが昨年度から現役4年生による「内定GETの方法」という分野別の企業内定者が在学生の質問に答える座談会を主催している。今年度も多くの2年生、3年生が参加した。

結果及び考察

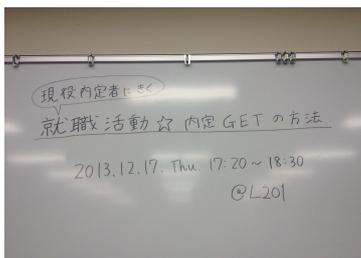
講習会は確実に学生の作業能力の向上につながっており、在学生による就職相談会は就職についての不安や疑問を解消することになった。今後は定例活動として位置付けて行く。次年度の課題は学科内のサイン計画の見直しおよび建築家、アーティストによる講演会の開催である。



ファブリックパネルによる空間のしつらえ



スキル向上のための講習会



就職内定者による座談会